



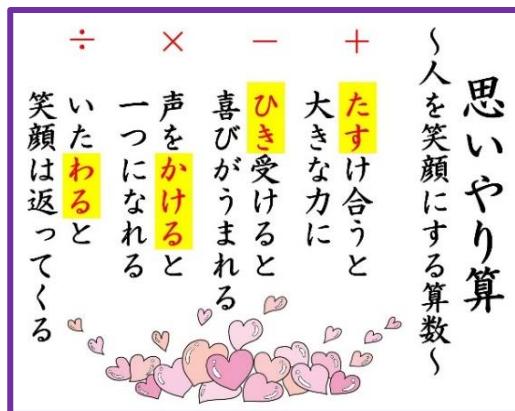
双葉東小学校だより

令和6年 7月1日 文責 学校長 窪田 正幸

1学期も 残り15日

早いもので、令和6年度がスタートして3ヶ月が過ぎ、いよいよ1学期のまとめの時期を迎えました。修学旅行や林間学校、校外学習や体験活動、そして日々の学習活動等に一生懸命に取り組む中で、一人一人が成長していく様子を頼もしく感じています。1年生もすっかり学校生活に慣れ、朝、元気に「おはようございます」と挨拶をして教室に向かう姿からは、双葉東小の一員だという自覚と自信が感じられます。

日々の学校生活において、個を響かせ合いながらたくさん仲間とともに成長していく子供たちを見ていると、「思いやり算」が頭に浮かびます。「思いやり算」とは、「人を笑顔にする算数」のこと。「たすけ合う」「ひき受ける」「声をかける」「いたわる」ことで「人を笑顔にする力」が生まれてくるというものです。学校だけでなく家庭や社会にも、この「思いやり算」が当たり前の空気のように満ちていたらどんなに素晴らしいでしょう。私達教職員も含め、子供たちを囲む大人達が、まずは実践をしていきたいですね。



自分の命を自分で守るための学習



先日、家庭科室から出火したという想定で、避難訓練を行いました。火災というと、吹き上げるように燃える炎の恐ろしさが真っ先に浮かびますが、実は一番恐ろしいのは煙を吸ってしまうことだと言われます。火のまわりよりも、煙の方がずっと速く、煙に含まれている一酸化炭素や有毒ガスで急性中毒になって大切な命を落としてしまう危険性があるからです。

煙の上昇速度は毎秒3m～5mだそうです。階段で人が上の階に上がる速さは元気な人で、約毎秒0.5mとされていますので、上に逃げると煙に巻き込まれてしまう可能性が高くなります。一方、水平方向へは毎秒0.5m～1mで、人が歩く速度は毎秒で1～1.3mなので、何もなければ、十分に歩いて逃げられるスピードということになります。どちらに逃げるかというのは、建物の作りや火元がどこかなどで変わってきますが、状況に依拠的確な判断をすることが、自分の命を守ることにつながることは確かです。



今回の訓練では、担任の指示の元、煙を吸わないように口や鼻をハンカチ等で覆いながら、火元である家庭科室から遠い経路を通して速やかに避難する方法を体験しました。避難訓練は「命を守るための授業」です。子供たちの真剣な表情が印象的でした。



お忙しい中、個別懇談会にご協力いただき、ありがとうございました。限られた時間ではありましたが、お子さんの話題を中心に、有意義な情報交換・共有ができました。今後も、学校とご家庭とが連携して取り組んでいければと思います。よろしくお願いいたします。